

調査資料

令和5年度会員駐車場調査

一般社団法人全日本駐車協会

会員駐車場調査は、次の3点を目的に実施しております。

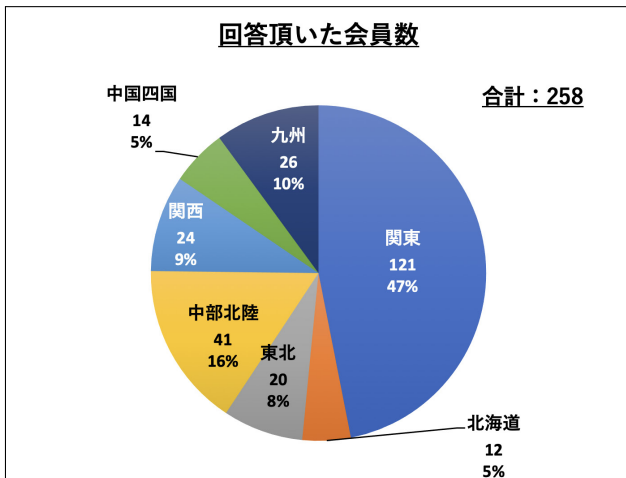
- ①会員の駐車場事業の実態を把握すること
- ②会員が興味を持っている内容について調べ、フィードバックすること
- ③調査結果を協会の調査研究・情報収集活動に活用すること

今般、令和5年度の調査結果がまとまりましたので報告いたします。

調査にご協力頂いた会員各社、取りまとめにご協力いただきました各地駐車協会事務局に誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

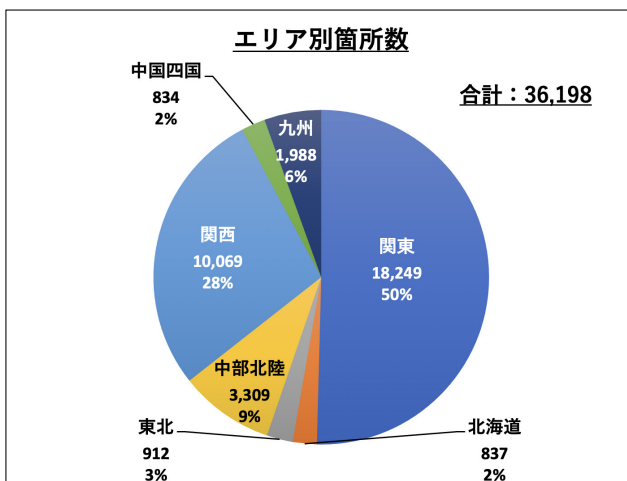
1. 調査時期 令和5年8月時点
2. 調査対象 全日本駐車協会
・各地駐車協会正会員
(正会員が団体の場合にはその構成員を含む場合がある)
・個人会員
3. その他 本調査は今年度より調査方法をWeb方式に変更し、調査を行いました。

1. 回答した会員数割合(エリア別)



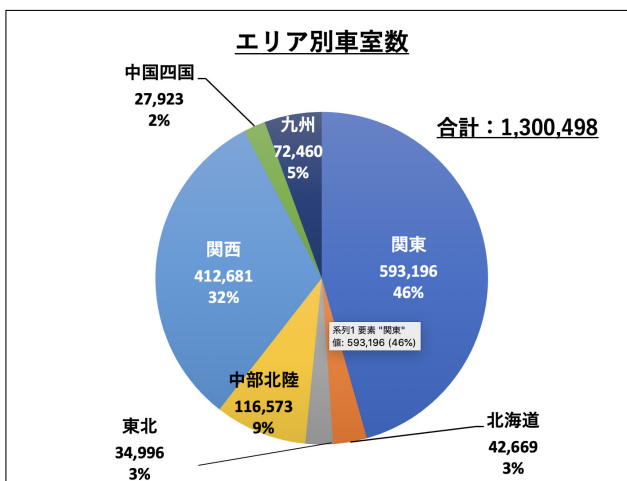
2. 駐車場概要

(1) エリア別の箇所数・車室数



エリア別に見た箇所数は、昨年度と同様の傾向(分布割合)にあるが、関東エリアが4ポイント減となったほか、東北、中部北陸、関西、九州エリアが1ポイント増となっている。

回答を頂いた会員数が昨年度比12減、箇所数は同比3,700の減となっているが、関東エリアの箇所数が約3,200減(15%減)と大きく、4ポイント減の要因となった。



エリア別に見た車室数も、昨年度と同様の傾向(分布割合)にあるが、関東エリアが2ポイント増、中部北陸エリアが2ポイント減となった以外は、変動はない。なお、箇所数は3,700箇所減ったが、車室数の合計は11万箇所強増えている。

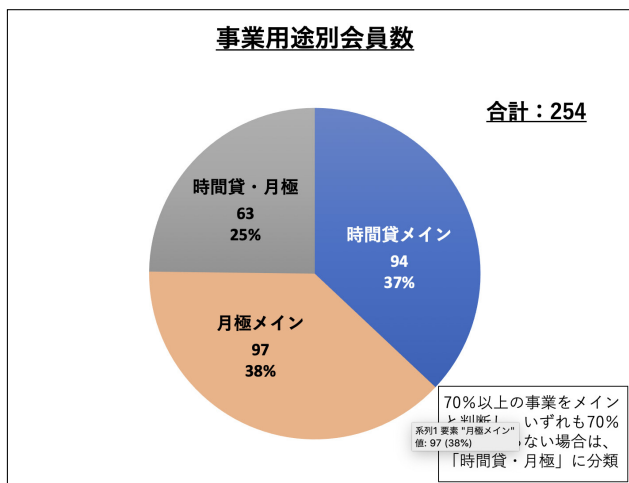
また、1箇所当たりの平均車室数は次表の通りで、全国平均は昨年度より3.6台増えており、東北と

中部北陸エリアを除く5エリアで増えている。変動が大きいのは、関東エリアの6.0台増、東北エリアの5.2台減、中部北陸エリアの7.8台減である。但し、いずれのエリアも、回答を頂いた会員の違いによる影響が大きいと考えられる。

【1箇所当たりの平均車室数】

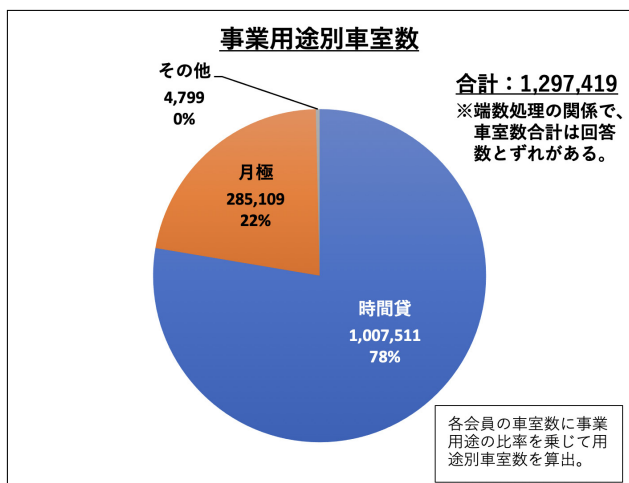
関東	北海道	東北	中部北陸	関西	中国四国	九州	全国平均
32.5台	51.0台	38.4台	35.2台	41.0台	33.5台	36.4台	35.9台

(2)事業用途別の会員数・車室数



事業用途別に見た会員数であるが、過去2年はほぼ三分される結果となったが、今回は時間貸メインが2ポイント増、月極メインが6ポイント増、時間貸・月極が8ポイント減と、比率の変動が見られた。但し、「用途を固定していない」等の理由で「その他」を100%と回答した会員は「時間貸・月極」に分類していることに留意が必要。

なお、「未回答」が4件あったため、回答合計は254件となっている。



各会員の車室数に事業用途ごとの比率を乗じて、事業用途別に車室数を見ると、会員数で見た時と大きく比率が変わり、「時間貸」が78%（昨年度比3ポイント増）、「月極」が22%（前年度比2%減）となった。これは、大規模に駐車場の運営・管理を行っている会員（以下「大規模会員」という）が「時間貸」中心であるためである。

(3)法的分類(会員数)

都市計画		届出		付置義務	
50会員	19.4%	115会員	44.6%	114会員	44.2%

※重複回答有
※割合は回答数(258)に対する比率

昨年度比で、届出駐車場が8.0ポイントの増、付置義務駐車場が9.4ポイントの増と会員数が大きく増えている。

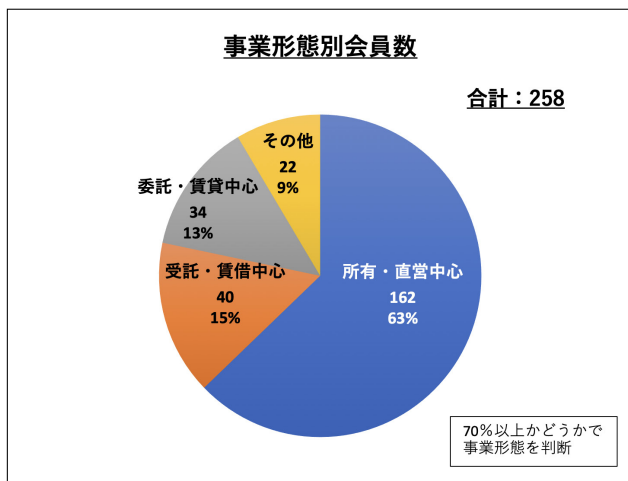
(4)構造・形式(会員数)

平地		自走式 (除く平地)		機械式	
134会員	51.9%	144会員	55.8%	110会員	42.6%

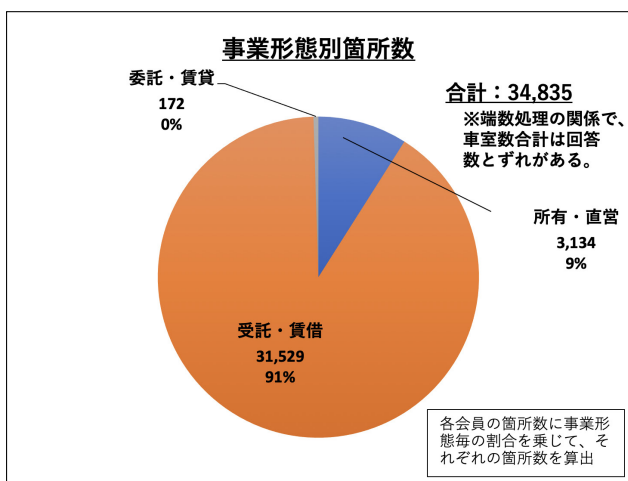
※重複回答有
※割合は回答数(258)に対する比率

多少の増減はあるが、各回答の割合は昨年度比で大きく変わっていない。

(5)事業形態別の会員数・箇所数

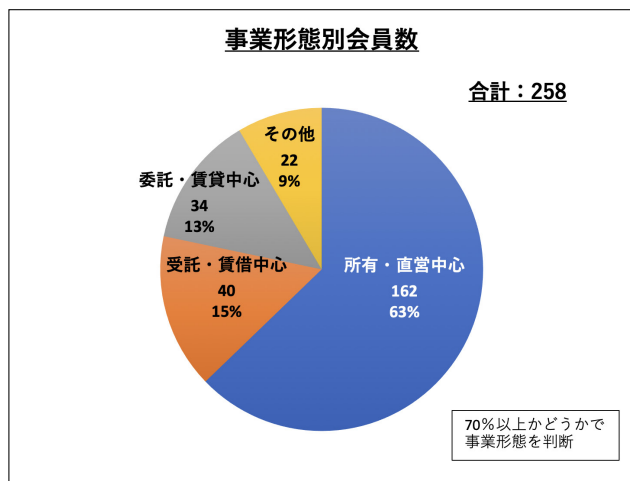


事業形態別に見た会員数は、「所有・直営中心」が63%と3分の2近くを占めている。なお、2ポイントの増減はあるものの、分布割合は昨年度とほぼ同様である。

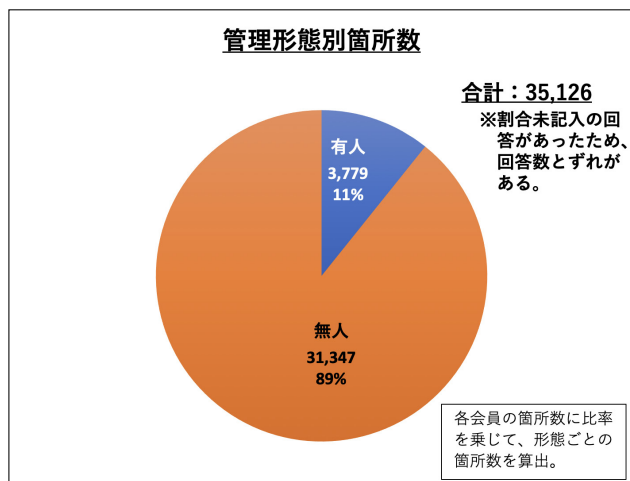


事業形態別に箇所数を見ると、会員数で見た時と大きく比率が変わり、「受託・賃借中心」が91%(昨年度比2ポイント減)と大半を占めている。これは、大規模会員が「受託・賃借」中心であるためである。

(6)管理形態別の会員数・箇所数



管理形態別に見た会員数は、「有人中心」が53%と過半を占めているが、昨年度比で有人中心は7ポイントの減、無人中心は6ポイントの増となり、比率はほぼ3：2（53%：38%）である。



各会員の箇所数に管理形態ごとの比率を乗じて、管理形態別に箇所数を見ると、会員数で見た時と大きく比率が変わり、「無人」が89%（前年度比3ポイント増）と大半を占めている。これは、大規模会員が「無人」中心であるためである。

3. 各種取組み

[注]「3. 各種取組み」においては、月極駐車場では一般的に導入しないと考えられる取組み(1)、(3)～(6)、(8)、(9))については、導入割合を計算する際に、月極駐車場の事業割合が100%の会員数やその箇所数を除外している。

(1)バリアフリー対応

	導入済会員数		導入割合
幅3.5mの車いす用スペース	86	42.8%	2.6%
通常幅の身障者等用スペース	72	35.8%	0.7%
動線のバリアフリー対応	68	33.8%	2.3%
身障者対応精算機	23	11.4%	1.0%

※導入割合は箇所数ベース

導入済会員数の割合については、「幅3.5mの車いす用スペース」が6.9ポイントの増、「動線のバリアフリー対応」が5.7ポイントの増となっており、大きく伸びている。

また、導入済会員数の割合に比べて、箇所数ベースで見た導入割合は引き続き非常に低く、十分な対応がなされていない現状は変わっていない。

(2)EV対応

①導入状況

	導入済会員数		導入割合
急速充電器	21	8.1%	0.2%
普通充電器	63	24.4%	3.2%

※導入割合は箇所数ベース

今年度は、普通充電器の選択肢を1つにまとめた(昨年度はポール型・スタンド型とコンセント型に分けていた)。導入済会員数の割合については、急速充電器が昨年度比で0.7ポイント増、普通充電器が1.9ポイント減少している。

②今後のEV対応

	会員数	
増やしていく、増やしている	33	12.8%
変わらない、方針未定	219	84.9%
減らしていく、減らしている	1	0.4%
回答なし	5	1.9%

「増やしていく、増やしている」という回答が4.3ポイント増加した一方、「変わらない、方針未定」という回答が27.1ポイントも伸び、約85%を占める結果となった。これは、昨年度は「回答なし」が多く(33.7%)、今年度は当該回答が減ったこともあるが、「変わらない、方針未定」の回答数自体が62件(156→219)も増えていることから、EV充電器の設置について様子を見ている会員が多いという傾向が窺える。

③②の設問で「増やしていく」「増やしている」と答えた会員が増やす充電器

	会員数	
	急速充電器	7
普通充電器	12	36.4%
急速充電器・普通充電器	14	42.4%

今年度は普通充電器の選択肢を1つにしたほか、「両方」という選択肢を追加した。昨年度は「急速充電器」と「普通充電器」の比率が1：2(7：14)であったが、今年度は「両方」の回答数を「急速」と「普通」それぞれに加算すると、その比率はほぼ45：55となり、急速充電器を増やそうとする意向が高まっていると考えられる。

(3)料金対応

	導入済会員数		導入割合
	短時間料金無料	45	
上限最大時間の設定	154	76.6%	
夜間料金の設定	110	54.7%	
変動制料金	12	6.0%	
提携店舗割引対応	120	59.7%	

※導入割合は箇所数ベース

「上限最大時間の設定」が、会員数ベースで8.6ポイント増、箇所数ベースで15.7ポイント増、「夜間料金の設定」の箇所数ベースが8.4ポイント増と大きく増えているのが今年度の特徴である。

なお、「短時間料金無料」「変動制料金」「提携店舗割引対応」は、導入している会員数割合よりも箇所数割合の方が数値がより低く、大規模会員が導入していない傾向にあることは従来通りである。

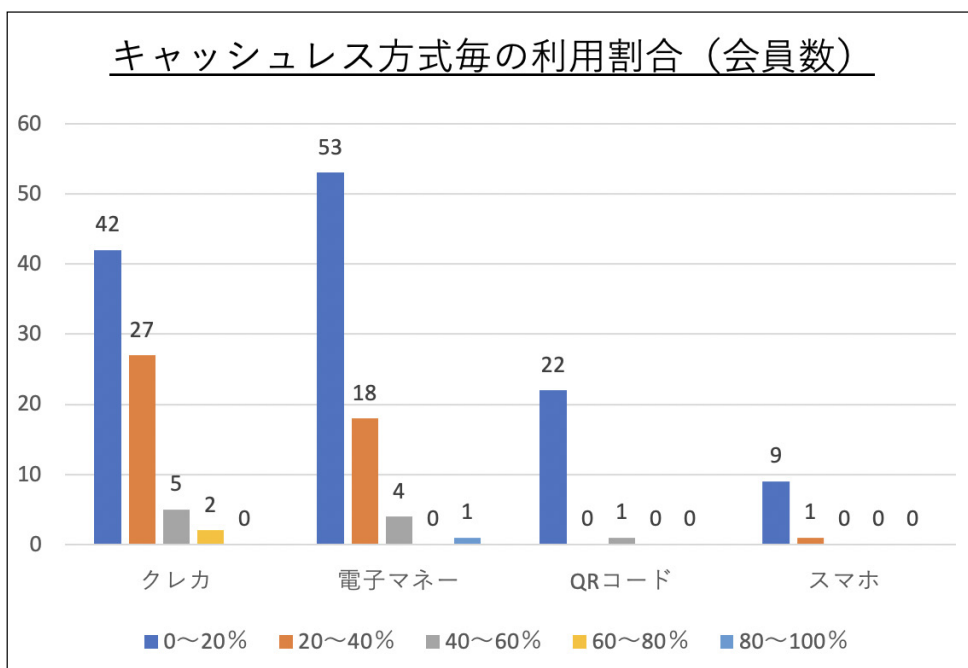
(4)キャッシュレス対応

	導入済会員数		導入割合
クレジットカード対応精算機	76	37.8%	56.4%
電子マネー対応精算機	76	37.8%	53.4%
QRコード対応精算機	23	11.4%	33.0%
スマホ決済	10	5.0%	43.4%

※導入割合は箇所数ベース

「クレジットカード」「電子マネー」「QRコード」については、会員数ベースで6～8ポイントほど増加しており、導入が進んでいることが窺える。また、箇所数ベースでも、「クレジットカード」が9.2ポイント増、「電子マネー」が11.9ポイント増、「QRコード」が32.9ポイント増、「スマホ」が18.0ポイント増と大幅に増加している。

なお、会員数ベースの導入割合に比べて箇所数ベースの導入割合が高いのは、大規模会員の導入が進んでいるためと考えられる。



いずれの項目も傾向としては昨年度と同様で、利用割合は「0～20%」が最も高いが、導入している箇所が増えていることから、実数自体は伸びている。（例えば、クレカの20～40%の実数は、昨年度：15 → 今年度：27）

(5)入出庫管理方式

	導入済会員数	
車番認証連動ゲート	56	27.9%
車番認証ゲートレス	8	4.0%
カメラ認証フラップレス	22	10.9%
スマホアプリ決済連動ゲート	3	1.5%
スマホアプリ決済連動フラップ	5	2.5%
ETC連動ゲート	6	3.0%

今年度より導入割合を算出するときの分母から月極だけの会員数を除いたためか、割合自体は全般的に増加しているが、会員数が減少している管理方式もある(回答した会員の違いの可能性もある)。その中で「カメラ認証フラップレス」を導入している会員は昨年度の16から今年度は22に増え、導入割合もほぼ2倍(5.9%→10.9%)となっている。

(6)予約駐車対応

	導入済会員数		導入割合
自社独自の予約システム	16	8.0%	11.2%
他社の予約システムとの提携	45	22.4%	3.0%

※導入割合は箇所数ベース

自社、他社を問わず、会員数ベースの導入割合は昨年度比で2~3ポイントの増に留まるが、箇所数ベースでの自社の導入割合は6.6ポイント伸びている。

なお、他社との提携については、導入している会員数割合に比べて箇所数割合が低くなっているが、主として大規模会員の提携箇所数が限定的であることによる。

(7)自動二輪車対応

	導入済会員数		導入割合
自動二輪車対応	70	27.1%	2.3%

※導入割合は箇所数ベース

導入済会員数の実数、割合ともに若干減少し、依然として30%を切っている。

会員数ベースの導入割合に比べて箇所数ベースの導入割合がかなり低くなっているが、大規模会員の導入割合が低いことによる。

(8)カーシェア対応等

	導入済会員数		導入割合
カーシェア	59	29.4%	20.1%
シェアサイクル	19	9.5%	0.1%
電動キックボード	8	4.0%	0.0%

※導入割合は箇所数ベース

「カーシェア」については、会員数ベースでは1.3ポイントの増であるが、箇所数ベースでは5.9ポイントの増であり、導入箇所数が大きく伸びている。

また、「シェアサイクル」「電動キックボード」は会員数ベースで2~3ポイントの増であるが、箇所数ベースでは昨年同様ほぼ0%と導入割合は非常に低い。

(9) 駐車場検索アプリ等対応

① 自社駐車場検索アプリ

	導入済会員数		うち満空表示有り	
自社駐車場検索アプリ	27	13.4%	19	70.4%

自社の駐車場検索アプリを導入している会員はまだ多くはないが、4.6%ポイント増加しており(実数では7会員増)、導入が進んでいるように見える。そのうち満空表示のあるアプリは、実数は2増(17→19)であるが、割合では14.6ポイント減少しており、満空表示のない検索アプリの導入が増えたと考えられる。

② 外部の駐車場検索アプリの利用状況について

	導入済会員数	
外部の駐車場検索アプリ	60	29.9%

外部の駐車場検索アプリを利用している会員は4増(56→60)、割合で5.7ポイントの増と、若干であるが導入が進んでいるといえる。

③ 利用している駐車場検索アプリ

昨年同様、多種多様な駐車場検索アプリが利用されていることが確認できた。大きく分けると次の通りで、昨年と同様の傾向であるが、AppleやGoogleなどの大手IT企業系アプリの回答が減っていることが特徴である。

① 広範囲をカバーするアプリ (NAVITAIME、iPOSNET、akippa、等) ※Appleマップ、Googleマップ、Yahoo!カーナビは回答数が減少

② 地域系アプリ (S-PARK、横浜市内駐車場案内システム、天神パーキングドットネット、名古屋パーキングナビ、等)